農事組合法人「みらい」への集積

佐原市西部地区（千葉県　旧佐原市）

事業地区の概要

事業名　　経営体育成基盤整備事業
受益面積　147ha
工期　　H8～H17
総事業費　2，170，000千円
土地改良区等　両総土地改良区
農業経営のタイプ　　水稲+小麦、大豆のブロックローテーション

地区の紹介（特記事項）

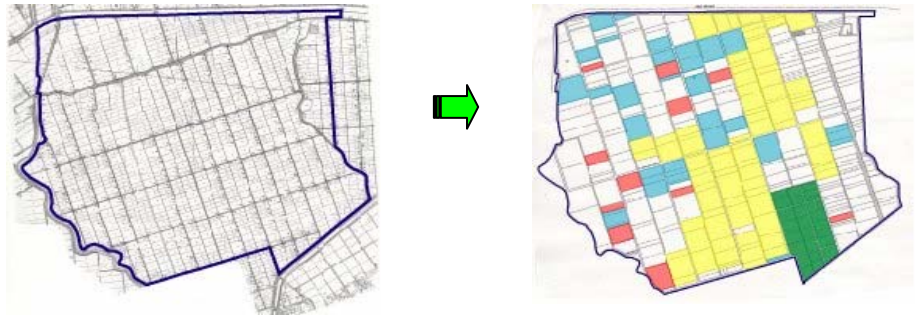
- 抱えていた課題
  - 利根川沿いの低湿田地帯で農地の汎用化が困難
  - 浚渫土でかさ上げと言う案もあるが地力が問題で反対者がいた
  - 農作業車がすれ違い出来ない狭小な農道
  - 土水路で狭く用排水の管理に苦慮していた
- 実施内容
  - 国土交通省による利根川からの浚渫土でかさ上げ
  - 浚渫反対者をまとめて換地した
  - ほ場整備事業による1ha区画の採用（46ha　31%）
  - 転作集団の育成（農事組合法人みらい）
- 効果
  - 佐原市で初めての集団転作を実施
  - ブロックローテーションによる土壌改良

集団化された小麦の作付状況

事業の実施により農地の集団化が図られ、事業を契機に設立された生産法人等の担い手に農地利用を集積しました。

集積状況図

事業実施前　　事業実施後



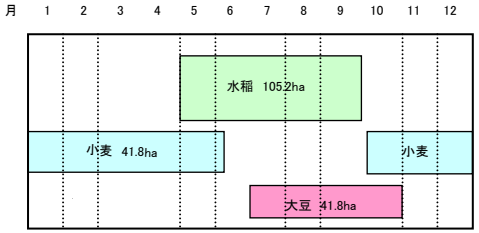
	集積はまだされていない
	営農組合に集積された麦転作農地
	営農組合に集積された水田
	個人担い手に集積された水田
	浚渫反対者の水田を集積

農事組合法人の新しい拠点のライスセンター

農事組合法人　みらい　の概要

- 設立　　平成15年10月1日
- 組合員　5人
- 主要機械
  - トラクター　4台
  - コンバイン　3台
  - レーザーレベラ
- 米・麦乾燥処理施設　50ha
- 大豆専用処理施設（選別～計量）
- 小麦製粉処理施設
- H16年度の受託面積　目標30．0ha
  - 実績47．9ha（33%）
- 今後の課題
  - 小麦・大豆の商品化への取り組み

ほ場整備後の作付体系



地区内で採れた小麦でのうどん試食風景